分かったよ 建設の仕事

安全✚第一 **愛媛県建設産業担い手確保推進事業**

【重機体験指導等協力会社】 西岡総合建設㈱　㈱愛亀　㈱今井組　芸予産業㈱　藤川建設㈲

建設業に興味を持ってもらい将来の進学、就職に生かしてもらおうと、主に中学生等を対象にした「愛媛県建設産業担い手確保推進事業」が8月19日から3日間、東中南予の各会場で開かれた。愛媛県と愛媛県建設産業団体連合会の共催。

建設された橋やトンネル、道路などは住民の暮らしを支え、災害から地域を守る。大きな建築物がどうやって造られているか、生徒らは重機の操縦を体験したり建設現場に行って作業員から話を聞いたりして理解した。各会場の様子や生徒等の感想をリポートする。

東中南予で開催！ 現場見学、楽しかった

バックホウの操縦を体験する子どもたち。「たくさんの砂を一度に動かせて楽しい」などの感想が聞かれた［松山工業高校グラウンド］

南予会場

八幡浜工業高の教諭から測量機の使い方を教わる子どもたち［八幡浜工業高校］

南予会場には、中学生のほか高校生らも加わり16人が集合。八幡浜市古町2丁目の八幡浜工業高校で重機の操縦を体験し、同校の先生に協力してもらって測量機の使い方を教わった。

建築物の位置や高さを調べる測量機は100㍍以上の距離をミリ単位で計ることができ、角度は分単位（1度は60分の1）まで確認できる。同校の先生は測量機を手際よく組み立て、レンズを見ながら目標物までの距離と上下角度を測定。生徒らはじっと作業を見つめ、先生に代わってレンズごしに目標物を捉えた。

このあと生徒らは、伊方町の道路拡幅工事現場に移動。田中建設のオペレーターの指導を受け重機の操作を体験した。工事にあたる堀田建設の五島翔さん(19)が就職したいきさつを説明した。五島さんは八幡浜工業高校を卒業した入社2年目の若手社員。「自分が造った建築物がいつまでも残っていく仕事は面白いし、やりがいがある」と建設業の魅力を打ち明けた。

八代中3年、栗本尚武君(14)は「道路や橋を造る仕事っていいなあと思った」。父親の秀樹さん(45)は「建設業とはどんな仕事かしっかりイメージできて、子どものためになった」と話した。

東予会場

コンクリートの強度テストを体験する子どもたち［新居浜市の新田橋付け替え工事現場］

東予会場は、小中学生を含め30人が参加した。西条市周布の東予高校でバックホウの操縦体験をした後、新居浜市角野新田町3丁目の山根公園に近い国領川に架かる新田橋の付け替え工事現場を見学した。

新田橋に使うコンクリートは鉄筋ではなく、プレストレストと呼ばれる特殊なもの。コンクリートの芯にピアノ線を使ったタイプで、鉄筋と比べかなり強度が上がっている。

子どもたちは建設会社「愛橋」の従業員から説明を受け、コンクリートの構造や特長などを理解した。強度テストで、ジャンプ台に見立てた鉄筋とプレストレストそれぞれのコンクリートの上に数人が乗ったところ、鉄筋は折れてしまったがプレストレストはびくともせず、強さの違いを実感した。

同社の早川唯一さん(49)は「自分の手がけた橋が地元の人の役に立つことが建築業の魅力」とPR。壬生川小6年、西田喜信君(11)は「建物を造る仕事への興味が膨らんだ」と言葉を弾ませ、保護者の明賀文弘さん(47)は「建設現場を見る機会はめったにないので、おいっ子と参加して勉強になった」と話していた。

中予会場

高さ約30㍍の橋の建設現場で子どもたちは大きな建築物を造る仕事の魅力を理解した［国道379号の銚子大橋］

中予会場には中学生を中心に25人が集まった。最初に松山市真砂町の松山工業高校グラウンドに集合、小型バックホウの操縦を体験した。

運転席にすわった中学生らは、最初は緊張気味。でも、建設業関係者から操縦方法を教わると、徐々に緊張がほぐれ、グラウンドの一角の砂の山をシャベルですくって別の場所に移す模擬作業も行った。「操縦は初めてで戸惑った」「大きな機械を動かせて面白かった」などの感想が聞かれた。

バックホウ操縦体験の後は、砥部町の国道379号、銚子大橋の建設現場に移動。橋は来年2016年中に完成する予定。ここでは、建設会社「愛橋」の社員から橋の構造や工事の進め方などの説明を受けた。久谷中1年の吉良優梨愛さん(13)は「自宅近くで工事をしていて、建設に興味があった。きょうはいろんなことを勉強できて楽しかった」とにっこり。保護者の西田真樹さん(41)は「バックホウに触れたり建設現場に行ったりして、子どもたちの視野が広がったと思う。将来の進学、就職に生きてくるはず」と話していた。

工事中

〈広告〉

各会場の様子は、愛媛CATV「たうんチャンネル(111ch)」にて放送

8月19日に行われた建築業の体験イベントの様子を中心に建設業の魅力やモノづくりの面白さを発信

初回放送時間　9月5日㊏　15:30～

愛媛県建設業協会は、公共事業に携わる者の使命として
地域社会に還元すべく、
さまざまな地域貢献活動に取り組んでおります。

災害復旧支援ボランティア

平成16年9月14日に愛媛県と「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」を締結しました。県内で発生した地震・台風等の災害の復旧支援活動を行っております。

交通安全活動（女性部会）

交通事故減少を目指し、ドライバーに安全運転を呼びかけ、女性部会が中心となり交通茶屋を県内各地で実施しております。

チャリティー活動

建設業協会で行っているイベントにおいて、地震や台風などで被害を受けた地域への義援金を呼びかけ、寄付を行っています。

献　血

病気やけがの治療のため輸血を必要とする人たちが数多くいます。建設業協会では、会員に輸血を呼びかけ、年間延べ1,000人が献血を行っています。

クリーン愛媛活動（清掃奉仕活動）

道路・路側や河川・海岸に落ちている空き缶・ペットボトルなどのゴミ、土砂・雑草の除去などを行う清掃活動を県内各地で実施しております。

法定外労災補償制度

建設共済保険

厚生労働省・国土交通省認可

●建設業界による自主的な共済保険で保険料が安い。
●事業主（保険契約者）への速やかな支払い。
●企業の諸費用部分も補償。
●元請・下請問わず無記名で補償。
●経営事項審査において15点の加点。
●元請・下請それぞれの保険契約者へ重複支払い。

無事故割引率 2割アップ！

育英奨学事業

【取り扱い機関】一般社団法人 愛媛県建設業協会　TEL 089(943)5324

公益財団法人 建設業福祉共済団　建設共済保険　検索
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル

われわれも建設産業への入職促進を応援しています。

一般社団法人 愛媛県建設業協会　〒790-0002 松山市二番町4丁目4番地4　TEL 089(943)5324　http://www.himekenkyo.or.jp/